



事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---------------|--------------|----|--------|-------------|
| 事業所名 | T-placeセンター南 | | | |
| 保護者評価実施期間 | 2026年 1月 20日 | | ～ | 2026年 2月 7日 |
| 保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 58 | (回答者数) | 47 |
| 従業者評価実施期間 | 2026年 1月 20日 | | ～ | 2026年 2月 7日 |
| 従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 13 | (回答者数) | 12 |
| 事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 26日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強みだと思われること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 利用者のことをよく理解し、本人や保護者のニーズを反映した個別支援計画を作成、支援を行っている。 | 定期的な保護者面談のほか、本人との面談も実施し、意向を反映させやすい体制を整えている。 | より専門性の高い支援を行うため、職員の知識・技術向上のための研修を行っていききたい。 |
| 2 | 日頃から利用者の様子をこまめに家庭に連絡し、状況や課題を共通理解している。 | 日々の記録をなるべく細かく記載しているほか、特筆すべき事項があった場合は別途電話やLINEで即時共有している。 | 他機関との連携も行い、より情報共有できるようにしていきたい。 |
| 3 | 中高生特化のプログラムを行っており、その内容もニーズに沿ったもので設定している。 | 毎年保護者向けにイベントアンケートを実施し、実施してほしいイベントの聞き取りを行、スケジュールに反映させている。 | 利用者の平均年齢も上がってきているので、より実践的な取り組みとして外部講師を招き入れるなど、普段接している職員以外から学ぶ機会も設定していきたい。 |

| | 事業所の弱みだと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。 | そもそのニーズがないので実施していない。利用者の年齢層を考えると、児童館の交流より、就労先として考えられるような施設や、成人との交流をすべきであると考えている。 | 成人施設との連携を模索したい。系列店舗の利用児童を招待するイベント（運営側の働きをするイベント）はニーズが非常に高いので、今後も実施したい。 |
| 2 | 家族に対する研修会や勉強会を実施しておらず、保護者同士の交流の機会を設けられていない。 | 保護者会は毎年2回行っているが、それ以外に保護者が集まる機会がない。以前は保護者向け勉強会も実施していたが参加者が少なかったため実施しなくなった。 | 以前保護者向け勉強会を実施していた時よりも利用者が増えてきたので、次年度は開催を検討する。 |
| 3 | 職員の研修の機会が少ない。 | 今年度は2単位化した影響で運営がばたついてしまい、全体での研修が行えなかった。 | 年度後半から各単位の情報共有がスムーズになってきたので、今後研修は実施予定であり、現在研修内容の希望を募っている。 |